

地域再生計画評価調査（地方創生推進交付金事業効果検証調査）

地域再生計画の名称	稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業	地域再生事業の名称	稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業	令和4年度評価
-----------	---------------------------	-----------	---------------------------	---------

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

評価指標		基準年数値	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度							達成度についての分析
				2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	最終年目標数値 2022年(令和4年)	
目標1	社会減の縮小数	3,247 人	目標	-400 人 (2,847) 人	-400 人 (2,447) 人	-450 人 (1,997) 人	-500 人 (1,497) 人	-500 人 (997) 人	-2,250 人 (997) 人	目標1の社会減の縮小数については、令和4年は、875人の悪化となり、単年度の目標値を下回った。 ウィズコロナやアフターコロナの時代へと移り変わりつつあることにより、県外への人の流出が始まったことが主な要因と考える。 目標2の県外からの移住者数については、前年度比2,252人増加の7,162人と単年度の目標値を大きく上回り、過去最多となった。20代・30代の移住者が5割を超え、東京・大阪圏からの移住者が約4割を占めるに至った。 大都市圏の若年層を中心に、移住先としての本県の魅力が浸透するとともに、コロナ禍においても、デジタルを活用して切れ間ない、情報発信を続けたことが、移住者増加の要因と考える。 目標3の観光入込客数については、令和4年の観光客数は20,108千人と推定され、前年から3,755千人(23.0%)の増加。このうち、県外観光客数は8,500千人(前年比29.1%)、県内観光客数は11,608千人(前年比18.8%)。 新型コロナウイルス感染症による制限の緩和や、県民割や全国旅行支援により増加したと考えられる。 目標4の観光消費額については、991億円と推定され、上記要因の影響で、前年比152億円(18.1%)となった。 支出項目別で見ると、宿泊費で68億円、土産品購入費で52億円、域内交通費で26億円の増加となった。
			実績	+816 人 (4,063) 人	+171 人 (4,234) 人	-1,059 人 (3,175) 人	-653 人 (2,522) 人	+875 人 (3,397) 人	+150 人 (3,397) 人	
			達成度	-204%	-42.8%	235.3%	130.6%	-175%	-6.7%	
目標2	県外からの移住者数	1,085 人	目標	+223 人 (1,308) 人	+223 人 (1,531) 人	+400 人 (1,931) 人	+420 人 (2,351) 人	+420 人 (2,771) 人	+1,686 人 (2,771) 人	
			実績	+630 (1,715) 人	+194 (1,909) 人	+551 人 (2,460) 人	+2,450 人 (4,910) 人	+2,252 人 (7,162) 人	+6,077 人 (7,162) 人	
			達成度	282.5%	87.0%	137.8%	583.3%	536.2%	360.4%	
目標3	観光入込客数	26,999 千人	目標	+387 千人 (27,386) 千人	+387 千人 (27,773) 千人	+400 千人 (28,173) 千人	+410 千人 (28,583) 千人	+410 千人 (28,993) 千人	+1,994 千人 (28,993) 千人	
			実績	-1,607 (25,392) 千人	+1,249 (26,641) 千人	-9,458 千人 (17,183) 千人	-830 千人 (16,353) 千人	+3,755 千人 (20,108) 千人	-6,891 千人 (20,108) 千人	
			達成度	-415.2%	322.7%	-2,364.5%	-202.4%	915.9%	-345.6%	
目標4	観光消費額	1,125 億円	目標	+24.4 億円 (1,149) 億円	+24.4 億円 (1,174) 億円	+25.0 億円 (1,199) 億円	+25.2 億円 (1,224) 億円	+25.2 億円 (1,249) 億円	+124.2 億円 (1,249) 億円	
			実績	+8 (1,133) 億円	+41 (1,174) 億円	-297 億円 (877) 億円	-38 億円 (839) 億円	+152 億円 (991) 億円	-134 億円 (991) 億円	
			達成度	32.8%	168.0%	-1,188%	-150.8%	603.2%	-107.9%	

評価年度において実施した事業

事業名	スポーツによる稼ぐ力と地域の魅力創出事業	総合戦略における位置づけ	基本目標：3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る 具体的施策：(イ)スポーツのまちづくり 取組：③スポーツツーリズムの推進	事業費	300千円
事業概要		(愛媛県実施事業) 野球イベントの開催やオールスターゲームの機運醸成、野球大会への支援等を通じて、競技人口の拡大及び競技力の向上を図るとともに、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指す。 ○ 福祉施設の子どもたちをスタジアムに招待し、スポーツ教室と試合観戦を併せて実施した。 ○ オールスターゲームの開催により野球人口拡大、競技力向上、交流人口の拡大による地域活性化を図り、野球振興や地域振興につなげた。 (今治市実施事業) 今治市は、スポーツ大会・合宿の誘致活動やスポーツ団体と連携したスポーツイベントの開催を促進するため、愛・野球博実行委員会(事務局：愛媛県)への負担金を拠出した。 ○ 2022年5月に、小学生約130名を対象に、プロ野球選手086名による「第28回セン全国少年少女野球教室」を3年ぶりに今治市営球場で開催した。将来を担う子どもたちに野球の魅力や楽しさを伝えるとともに、競技力の向上及びオールスターゲーム開催に向けた市内の機運醸成策を実施した。 ○ 同実行委員会が交付している補助金を活用して作成したオリジナル今治タオルをオールスターゲームにおいて出場した選手及び野球関係者に配布し、野球と地場産業との融合を図った。			
事業効果		県及び市町、経済団体、スポーツ団体などで組織する「愛・野球博実行委員会」のもと、文化・スポーツの両面から野球をテーマとした各種イベントや合宿の誘致、アマチュア団体と連携した野球大会、プロスポーツとタイアップした野球ファンづくりや野球夢集めなどに取り組むことにより、2022年7月に開催されたオールスターゲームの機運醸成を行った。また、新型コロナウイルスの影響により中止となっていた「第28回セン全国少年少女野球教室」が3年ぶりに今治市で開催され、プロ野球選手08のハイレベルな実技指導を目の当たりにし、競技人口の維持拡大はもとより、青少年の健全育成、交流人口の拡大にも寄与した。			

評価及びそれを受けての市の方針

外部有識者による評価		議会からの意見	今後の方針、改善点など
☒ 総合戦略のKPI達成に有効であった ☐ 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない (主な意見) 今後の方針のとおり事業を進めることで了承した。		特段の指摘なく了承された。	平成30年度から令和4年度までの5年間にわたり実施した「愛・野球博事業」の成果をレガシーとして次世代へ継承していく。 また、幅広い年代の方々に野球の持つ魅力や楽しさを体感していただくとともに、若い世代が野球に夢を抱く環境を整え、更なる競技人口の維持拡大や競技力の向上、交流人口の拡大による地域活性化につなげていく。